



月刊宮司プレス第二百二十六号

彦島八幡宮 宮司ニユース
発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 令和七年 三月二十一日

◇宮司の柴田です。もうすでに仲春を迎えているというのに、寒の戻りというか、過日の朝の冷え込みは、真冬の様相でした。春という象形文字は、桑の芽が伸びきった形をしているそうです。さらに、三月のことを弥生というのも、「命^{いやは}弥張り月」からきておりますし、草木が芽吹き、桜の開花が待たれる昨今です。

◇さて、経営の神様といわれた松下幸之助さんは、経営者にとって大事なことはなんですかという問いに、「運が良いこと」だと仰いました。それでは、運がよくなるにはどうすればよいのでしょうかという問いには、「徳を積むことです」とお答えになられたそうです。徳を積むにはどうしたらよいのでしょうか。実は、その答えを、「徳のある方は三つの物を持っている」と、次のように述べられています。このことは、既刊号の宮司

プレス第二〇七号にも詳^{しょうじょう}述^{じゆつ}しています。◇ひとつめは、何事にも感謝^{かんしゃ}できる人です。私共の御先祖様は、万物万象^{ばんぶつばんげん}に神仏^{しんぶつ}を見出し、何事も謙虚に感謝する心を大切にしてく

ました。当たり前の反対語は、実は、「感謝すること」なのでありまして、何気ない日常こそ大切なのです。吉田松陰先生は、そのことを「至誠^{しせい}」と教えられています。凡事^{ぼんじ}徹底^{てってい}、何事にも手をぬかず一生懸命につとめる、このことが「至誠」で、感謝する心につながるのではないのでしょうか。

◇ふたつめは、掃除ができる人です。私共神職の奉仕は、三つあります。「神明奉仕」、そして、「社会奉仕」、さらに、「清掃奉仕」です。私共日本人は、「神州清潔^{しんしゅうせいけつ}の民^{たみ}」といわれますように清浄^{せいじようせいじつ}清潔^{せいじようせいじつ}を大切にしていりました。神様は清浄^{せいじよう}を大切にされますので、神様を喜ばすには、清掃奉仕が、肝心^{かんじん}要^{かなめ}でもありません。一昨日の西山小の卒業式で、上岡PTA会長は祝辞^{しゆじ}のなかで、「脚下照顧^{きゃかしょうこ}」という言葉を送られました。いたく感動したのであります。たとえば、脱いだ靴をそろえるのはいうまでもなく、他の人の靴が、きちんとそろっていないなかつたら、さっそうとそろえる、まさしく

「脚下照顧^{きゃかしょうこ}」という言葉を送られました。いたく感動したのであります。たとえば、脱いだ靴をそろえるのはいうまでもなく、他の人の靴が、きちんとそろっていないなかつたら、さっそうとそろえる、まさしく

思いやり、優しき、利他^{りた}の心につながるのが、「脚下照顧^{きゃかしょうこ}」なのです。思いやりのある人は、まわりの人を幸せにしますし、まわりの人を幸せにする人は、まわりの人から、ますます幸せにされるのです。

◇三つめは、愛嬌^{あいきょう}のある人です。「和気致^{わきち}祥^{しょう}」、和気^{わき}致^ち祥^{しょう}を致^{いたす}すと読むのですが、どんなに苦しく辛くても笑顔^{えんご}を忘れない、そうすると、必ず、幸せになれるという意味です。「感謝」、「清掃」、「愛嬌」が備わってこそ、孔子^{こうし}が諭^{さと}された人間の理想像^{りそうざう}である、「仁^{じん}」、まさしく「徳のある人」ではないのでしょうか。

◇私は、感謝・清掃・愛嬌を備えるためには、「三つの目」が必要^{ひつやう}ではないかと考えます。このことも、既刊号である宮司プレス一八六号にも詳述^{しょうじゆつ}しています。その「三つの目」は、「鳥の目」、「虫の目」、「魚の目」です。落ちて着いて、ゆとりをもって、大空から全体を見渡さなければ、何事にも神仏を見出し、感謝^{かんしゃ}することは出来ません。まさしく、「鳥の目」です。清掃は、「脚下照顧^{きゃかしょうこ}」、まさしく、足元^{あしもと}や細かいところにも目配^{めばい}りが肝要^{かんやう}です。お陰様^{おかげさまで}でという謙虚^{けんこ}な気持^{きもち}、まわりの人を幸せにする思いやり、これが、「虫の目」です。愛嬌^{あいきょう}とは、希望^{きぼう}を見失^{みし}うことなく、創意工夫^{さいぎこう}をして、苦難^{くなん}を乗り越えていく、世の中の流れを見極める心がけこそ、「魚の目」です。◇私が、かねてから、敬神生活^{けいじんせいかつ}の心がけを「4

KプラスROY」と提唱してまいりました。4Kは、「感謝・謙虚・希望・工夫」、ROYは、「利他・落ちつき・ゆとり」です。この「4KプラスROY」は、前述の「感謝・清掃・愛嬌」、さらに、「三つの目」にもびつたりと符合します。「感謝・落ち着き・ゆとり」が、「1K・O・Y」で「鳥の目」です。そして、「謙虚・利他」が、「2K・R」で、「虫の目」です。さらに、「希望・工夫」が、「3K・4K」で、「魚の目」です。

◇「三つの目」、「四KプラスROY」の敬神生活で、人間の理想像である「仁」に近づきつつ、「徳を積み」、「運が良い」、明るく豊かな暮らしでありたいものです。ご自愛ください。

◇二月の祭典行事報告

▼田の首八幡宮 *二月二十二日

▼横浜・ディエヌエベイスターズ下関ファン集いの会必勝祈願祭

*二月二十四日

※山口新聞に掲載されました



※祈願色紙を皆さんに謹呈しました



※二月二十五日に、シーモールで開催された三浦監督のトークショーで、祈願色紙が謹呈されました



◇三月の祭典行事報告(予定も含む)

▼月次祭 *三月一日、三月十五日

▼南風泊恵比須神社例祭

*三月十五日

▼春季祖霊祭 *三月二十日



▼朝粥会 *三月二十一日
◇三月の宮司動静(予定も含む)

▼神社関係団体

◆総代会 *三月一日

◆早起会参拝 *三月一日

◆維蘇志会勉強例会 *三月十五日

◆神道会総会 *三月二十日

◆敬神婦人会茶話会(お花見)

*三月三十一日

◆神道会世話人会 *二月二十三日

▼神社庁関係

◆神宮へ出張 *三月四日~五日

◆神社体験会 *三月八日

◆神社庁教化委員会。神宮大麻増頒布推進会議 *三月十一日

◆下関支部総代敬婦役員会、支部内研修会 *三月十三日

◆神社庁臨時協議員会、役員会

*三月十八日

◆講演講師養成研修会、祭式研修会

*三月二十五日

◆神職養成講習会講師打合

*三月二十六日

▼自治会、学校関係、人権相談員、その他

◆玄洋中卒業式 *三月七日

◆玄洋校区あいさつ運動 *三月十日

◆社会福祉法人松美会評議員会、迫町自治会組長会議 *三月二十二日

▼講演活動

◆横浜・ベイスターズ後援会長州星山会総

会にて講演 *三月二十七日